

## < 審査意見書 >

国内景気は、ウイズコロナの下で、各種政策の効果もあって持ち直してゆくことが期待されている中、審査に当たった当町の令和5年度一般会計予算及び4特別会計予算の総額は、293億8,711万7千円で、対前年度比18億5,728万1千円、6.7%の増であり、また、一般会計予算の総額は、173億2,500万円で、対前年度比23億3,900万円、15.6%の増となった。

まず歳入ですが、一般会計の50.4%を占める町税では、町税全体で87億3,370万円、対前年度比3億5,030万円、4.2%の増となっている。また、国庫支出金全体でも、22億5,046万円、前年度より3億6,053万円、19.1%の増。そして、県支出金は、12億331万1千円と、前年度より3,106万円、2.6%の増となった。

これら、国・県補助金の獲得を積極的に図るなど、財政の健全化に向けた取り組みは評価するものの、町債については、年度内の発行債が16億3,360万円、令和5年度の償還元金は10億896万6千円であり、発行債と償還元金を比較すると本年度のプライマリーバランスは赤字となった。

次に歳出については、総務費で、自治体 DX 推進業務委託や町の花「すいせん」制定50周年記念事業の実施に伴う予算が計上され、また、民生費では、障害福祉サービス利用者の増加や、国の出産・子育て応援事業の実施に伴う予算の増額など、町民生活に直結する施策に予算が

計上されている事は、大いに期待するものである。

さらに衛生費では、美化センターの調整槽補修工事や、農林水産業費では、花川用水路予防保全対策(二期)工事に伴う予算の増額。商工費では、これまで工業で分野を中心に進めてきた、エコミックガーデン事業を商業分野まで拡大。土木費では、田端西地区組合土地区画整理事業助成金や、多くの町民が利用するシンコースポーツ寒川アリーナ(寒川総合体育館)の武道場やサブアリーナへの空調機新設工事費用を計上。消防費では、消防庁舎建設のための用地取得や、はしご付消防自動車及び資機材搬送車の購入。教育費では、中学校の学校給食開始に伴う校内小荷物昇降機の借り上げ料の他、(仮称)寒川学校給食センターの開設に伴う公有財産購入など、多くの投資的経費となる事業予算が計上されている事においても、町総合計画に基づく将来への投資を着実に進めているものと捉え、大いに評価できるものである。

今までの健全財政を背景に、世代間公平負担といった考えのもと、町債の活用で過去最大の予算規模となっている事は理解するが、町債については、借り方の固定資産と貸し方の固定負債というバランスシートにおいて、資産形成と建設事業債は連動するといったことから、健全財政を著しく低下させるものではないと判断していますが、将来負担による財政硬直化といった点では、懸念されるところもあるため、引き続き、自律的な行財政運営を努めていただきたい。

また、予算執行にあたっては、審査の過程で指摘された委員の意見等を十分に配慮し、「寒川町総合計画 2040 第一次実施計画」で取り組むべき事業を着実に推進していただきたい。そして、施政方針で町長が述べた、「町民の皆さまの生命や財産を守る体制の強化や次代を担う子どもたちが夢や希望を持ち笑顔で暮らし、「住み続けたい、住んでみたい」と思われるまちづくり」に向け、全職員が一丸となって取り組むよう要望し、審査意見とします。